



# 光電センサー MaP1180PS2A

基礎医学研究用機器



画像刺激を行う際に、同期したトリガ信号を作るための光センサーユニットです。画像刺激用のディスプレイ上に白と黒のマークを交互に表示させ、この明暗をトリガ信号(TTL5V)とする装置で、画面にセンサーを両面テープで貼り付けて利用します。Aタイプより、チャタリング防止回路を搭載し不要なパルスを制限し予期せぬ誤動作を防ぐこともできます。チャタリング防止回路無の出力も従来通り出力されています。選択してご利用ください。

## ●仕様

光センサー	フォトランジスター、2ch
スイッチング時間	10 (μs)
チャタリング防止	不応期 20(ms) 立ち上がりと立下り、いずれの変化に対しても作動
出力	2ch×チャタリング防止回路 有・無⇒計4個 BNC(J)端子 TTL5(V)
感知レベル	前面に半固定抵抗で調整可能(出荷時 60%に設定) [左廻0%⇒右廻 100% ONになるレベルで右ほど明るくなります。]
モニタLED	電源パイロットランプ:赤 トリガモニタ:緑(×2)
電源	USB ケーブルにより5(v)を供給 (ドライバーソフトは不要です)

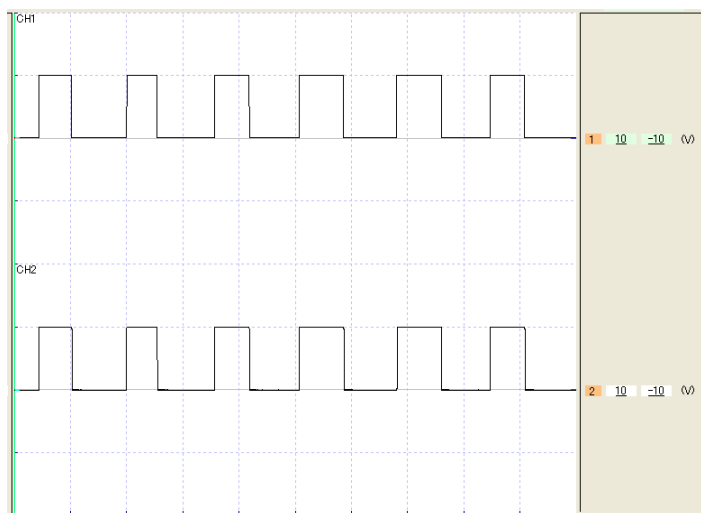


図2. 出力信号1 [X軸:10秒 Y軸:5(V/div)]  
黒い時に LO (0V) 明るい時に HI (5V)

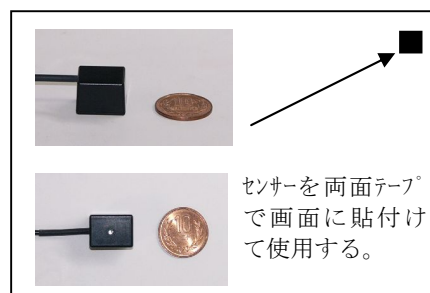


図1. 刺激画像のマーク例  
画面周辺(四隅)のどこかに刺激提示時に白くなるようにマークを表示する。

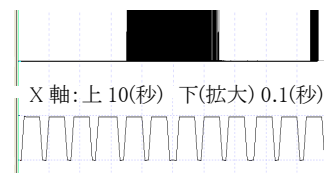


図3. 出力信号2 拡大図  
センサーが弱い蛍光灯の光を受けると120(Hz)のパルスとなります。(チャタリング回路無)

※ センサ取り付けの両面テープは、市販品をご利用ください。液晶ディスプレイをご利用の際は、剥がす時、液晶を傷めないようご注意ください。  
※ 改善のため仕様変更することがございます。

基礎医学研究用機器のため臨床用途には使用できません。

お問合先 (製造・販売元)  

**ニホンサンテック株式会社 MaP工房**  
 〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9-40  
 TEL: **06-6652-5984** FAX: 06-7850-3671  
<http://www.santeku-map.com/> Mail: post@santeku-map.com

※この記載内容は2015年9月現在の内容です。

NST\_MaP#150910